

# 実施報告書

えびなっ子<sup>こ</sup>

サマースクール

2013年7月

海老名災害ボランティアネットワーク

# 平成25年度 えびなっ子サマースクール 実施報告書

## 1 日時

平成25年7月24日 午前9時15分～11時5分 海老名市立杉本小学校

## 2 参加者

3～4年生 25名

## 3 実施内容

9時頃にサマースクールの参加者全員が体育館に集合し、朝の会を行っていました。

9時10分から15分の間にどきどき防災体験を実施する1年1組の教室に移動してきました。

1時限目（9時15分～10時5分）は、ロープワークを実施しました。2時限目（10時15分～11時5分）は、ブルーシートを使用した三角テントを設営しました。

松本副代表が挨拶と災ボラ参加者（地域の先生）の紹介を行いました。

参加児童全員と保護者ボランティアの方に、資料を配付し、ロープを渡して、どきどき防災体験を開始しました。

今回から、従来のお遊びを止め、実際に救助に使用するロープワークを体験してもらいました。物干し竿を横にして、ここで巻き結びを、いくつかの班に分けて経験してもらいました。その間に他の児童には、8の字結びを机の上で経験してもらいました。

興味のあるやる気のある児童は、できたといって笑顔でしたが、興味もなくやる気のない児童も多数いて、出来ないといって、ロープを投げ出していました。

前回23年度にロープワークを行いました。当時は5～6年生の高学年でお遊びのロープワークでした。当時もうまく結べない児童はいましたが、それなりに努力をしていましたが、今回は、3～4年生と中学年で、努力もせずに出来ないといって投げ出してしまう児童が目につきました。お遊びのロープワークと救助に使用するロープワークの差は、巻き結びは、ほどけないように末端処理を行うことが付け加わり、8の字結びは、一重から二重になるだけで、特別むづかしいことを行ってはいないのですが、ロープが欲しいといっていました。ロープはあげられませんと言ったことで、やる気がなくなってしまったのでしょうか。

2時限目は、今にも雨が降りそうでしたが、教室の前のグラウンドで、ブルーシートを使用した三角テントの設営を行いました。

設営の前に、ブルーシートを児童全員で囲んで、ブルーシートと小さなボールを使用しての巻き結びを実施してもらい、2班に分かれて、設営を行いました。

ブルーシートの3点に玉を使用して巻き結びで、ロープを取り付け、センターにガムテープを貼って、支柱を巻き結びで取り付け、立ち上げてテントが完成しました。

ロープを結ぶペグの打ち込みに、グラウンドが固く児童は苦しんで時間を浪費してしまいましたが、10時50分に



はなんとか設営できました。

児童全員がおのこの持ち場を担い、全員参加で無事にテントを完成させることが出来、

完成したテントに入り歓声を上げていました。記念撮影を行い、全員でテントの撤収を開始して、後片付けを行い、松本副代表が挨拶をして、終了しました。



#### 4 後書き

えびなっ子サマースクールは、海老名災害ボランティアネットワークが参加して4年目になります。昨年は、人類700万年の自然災害対策のお話と災害をイメージする目黒巻きの記入を行いました。内容的に少し難しいものだったので、今回は元に戻し、ロープワークとブルーシートを使用した三角テントの設営を行いました。

今年度から、小学校からの要望で実施するようになり、実施要望が1校だけでしたが実施内容の要望がありませんでしたので、ロープワークの実施にしました。

防災訓練といえば、担当者の訓練をただ見ているだけで終わりのものが多いとの批判から、参加型訓練が取り入れられていますが、どうしても初歩の初歩のさわりのものになってしまっています。できれば本物に少しでも触れていただきたいとの気持ちから、今回のサマースクール、ロープワーク実施内容を従来のものから変えました。

内容も、高学年と中学年では変えて行わないといけないのかと反省しています。しかし、お遊びの訓練になってはいけないと思って居ます。

保護者ボランティアの方が、こんなに簡単にテントが張れるとは思って居ませんでした、小さな玉を用意しておきますとお願いいただき、なにか海老名災害ボランティアネットワークの防災意識高揚という広報目的が達成できたように感じました。

松本副代表、橋本顧問を始め、暑い時期に御協力下された海老名災害ボランティアネットワークの皆様のお陰で無事にサマースクールが終了出来ましたことに厚く感謝申し上げます。